ひとりの手
みんなの手

相談室だより No.82

発行者　北海道クリスチャンセンター
家庭福祉相談室事業後援会
会長代行　一條英俊
札幌市北区北７条西６丁目
TEL・FAX 011(746)6374

「子どもを80％信じる」

北星学園女子中学高等学校聖書科教員
北星学園付属高等学校日本語教員
ミュージシャン
今城晋作

私は札幌で教員とミュージシャンをやっている24歳です。原稿執筆を頼まれ、過去の号を拝見したのですが、これまでの筆者は団体の幹事や、代表、牧師など、錚々たる方々であったことを知り、一度は断ろうと思いました。しかし、「若者の立場だからこそ書いて欲しい」と言って頂き、恐縮ながらこの場を借りて、自分の経験をもとに、教育に関する想いを書かせて頂きます。

つい最近まで学生だった私ですが、自分の子どもの頃を振り返ってみると、かなりの期間は「暗黒期」でした。

例えば小学３年生の頃、担任が体罰教師で日常的に殴られたり、中学生の頃はいじめっ子に反抗したが為にリンチに合って骨折したり、びしょ濡れで帰宅したこともありました。また反抗期も重なり、親には相談できず、学校の先生も「いじめはない」と言っていたりと、悔しい思いをしていたのを今でも鮮明に覚えています。また日常生活での違和感から、中学１年生の頃に検査に行き、ＡＤ／ＨＤ（注意欠陥・多動性障がい）であることが判明、高校２年生の頃にはＬＤ（学習障がい）であることを知りました。また中３から高２までは、ＯＤ（起立性調節障がい）という自律神経の病気で、高校２年間はほぼ学校に行けず、薬の副作用でご飯が食べれない時期もありました。

話は少し飛躍するのですが、近年「多様性」という言葉が教育の場でよく使われ、皆さんも聴き馴染みがあると思います。しかし「自分らしく」生きるのは、とても難しい世の中であると私は思います。例えば「不登校はよくない」「偏差値の良い学校へ進学しなくては」というものが、「自分らしさ」よりも重要視され、「多数」に属していることが正しく、まるでそれで人間の価値が決まってしまうような風潮があるように思います。

先ほど書いたように、私はいわゆる「多数」には属せない幼少期を過ごしてきたわけですが、今の自分があるのは、親と高校の先生が「沢山の選択肢を与えてくれたこと」と「自分を信じてくれたから」だと思います。好奇心旺盛な私に、沢山の習い事を経験させてくれたり、地元を離れて全寮制の高校へ進学したいという私の望みに応え、家を出ることと許してくれた両親。高校２年間、登校できなかった私一人の為に、長期休みに学校で補習をしてくれた高校の先生方。彼らは決して、「普通」を強要せず、ただ、そこにいて、私のことを信じてくれました。今こうして、辛かった過去を客観的に振り変えることが出来るのも、中学生の頃からの夢であった音楽を仕事に出来ているのも、私に選択肢を与えてくれて、私の選択を信じてくれた人たちがいたおかげだと思っています。

地元を離れ、自然の中で教員と生徒と働きながら共同生活をするキリスト教独立学園高校に飛び込んだ。

これを読んでいる方の近くに、私と同じような辛い日々を送っているお子さんがいるかもしれません。親がいくら「味方だから相談してね」といっても、子どもは親に心配かけたくなかったり、何かと言いづらくて相談してくれないかもしれません。そんな時に親が出来ることは、選択肢を提示し、子どもの選択を信じてあげることだと思うのです。例えば「逃げる」というのも立派な選択肢であることを伝えてあげる。逃げた先でまた選択肢を提示して、子どもの選択を信じること。大切なのは「理想を押し付ける」のではないということ。「信じる」はあくまで80％であり、１００％ではダメ。残りの20％は、「想定外」を受け止めるための余白です。

「多様性」を掲げながらも「多数」に属していない事に冷たい社会ですが、せめて親は、子供に選択肢を与えて、子どもの選択を信じてくれる存在であって欲しいと、私は自分の経験を通して思います。そして、同じ思いをしている人たちを想って、教育と音楽の場からアプローチしていきたいと思っています。

グループの子どもたち

『人形劇』貸し切り公演

１月11日（木曜日）冬休み中の特別プログラムとして中島公園にある人形劇場『こぐま座』を借り切って、人形劇の観劇会を開催しました。以前にも行っていたのですが、コロナ禍で開催出来ない年が続き、４年ぶりの開催でした。以前に参加した経験のある人はいなかったので、何人来てくれるかと心配しましたが、11家庭（28名）とたくさんの方が参加しました。

劇場の入場制限がなくなったので「ご家族でどうぞ」とご案内してみたところ、兄弟姉妹・お父さん・おばあちゃんの参加もあり「お姉ちゃんが喜んでいた」「私（母）が、楽しかった」といった嬉しい感想をいただきました。また普段は自家用車で出かける事の多いあるご家族は、お子さんが地下鉄の乗り方を教えてくれたと嬉しそうに話してくれました。これは、グループで公共交通を利用した遠足の経験が生かされたエピソードで普段の活動が実生活で活かされた嬉しい報告でした。家族で出かけ初めての経験を共有できた良い行事となったようです。

以前お願いしていたアマチュア劇団が、４年の間に活動を止めてしまっていたため、今回はプロの劇団えりっこさんにお願いして『不思議の森ヤーヤー』を見ました。

劇場には、客席が真っ暗になると不安になるお友だちがいるかもしれないので、明かりは暗くする程度にしてほしい事、劇場の中には入れず扉の外から見るお友だちがいるかもしれない事、などを事前にお話ししてお願いしていたのですが、始まって見れば電気は真っ暗に消され、扉の外で見るお友だちはいなく、心配は取り越し苦労でした。最初から最後まで全部楽しかったとはいきませんでしたが、ほとんどのお友だちが座った場所から移動することなく、マナーを守って見る事が出来ました。

来年はいつ、何を見ようかと楽しみです。

（Dグループカウンセラー）　関根　淳子

ボクはこれが好き！

2023年度ケースの報告

児童発達支援事業の進路別人数

進路	グループ別	母子同室グループ	二・三才児グループ	併行通園グループ	退室計	継続計
公立幼稚園	相談室退室					
	相談室継続			1		1
私立幼稚園	相談室退室	3			3	
	相談室継続	1	3	5		9
保育所	相談室退室	2	1	1	4	
	相談室継続	1	3	3		7
相談室のみ		4				4
福祉機関		1			1	
就学	通常学級			4		4
	特別支援学級			5	1	4
	特別支援学校			1	1	
その他・未定		5			5	
小計		17	7	20	15	29
総計					44	

児童発達支援

紹介者	計
さっぽ	0
保健センター	31
幼稚園・保育園	4
その他	9
計	44

放課後等デイサービス　らるご

紹介者	計
家庭福祉相談室	4
その他	1
計	5

らるご利用者の動向

	所属学校	退室者数	継続者数
小・中学校	通常学級	1	25
	特別支援学級	1	16
	特別支援学校	1	6
高等学校	全日制高校		0
	定時制高校		1
	高等支援学校		1
	特別支援学校高等部		
合計		3	49

発達援助グループ開室日

Aグループ　月・金曜日
二・三歳児（午前）
Eグループ　水曜日（午前）
幼稚園保育園の年少年中児
Dグループ　木曜日（午後）
幼稚園保育園の年中年長児
個別療育日　火曜日（午後）
各グループ参加児対象
保護者グループ
AED各グループ開設時に、
併行して別室で行う
育ちの広場・ちびちび
火曜日　午前10時～11時半
親子遊び　随時受け付け

主な行事

○遠足（Aバス遠足、水遊びなど）
（Dお買い物など）
（E地下鉄、水遊びなど）
○お楽しみ会（各グループ）
○クリスマス会（各グループ）
○お別れ会（各グループ）
○家族の集い（全グループ合同）
親子でムーブメント
○就学についての説明会
ちえりあの先生、先輩お母さん
○人形劇（全グループ合同）
こぐま座にて観劇

らるごのじかん

放課後等デイサービス事業
家庭福祉相談室 らるご

らるご、受検(験)シーズン！

学習支援担当　太田　匠

２０２４年1月26日（金）、高等支援学校及び特別支援学校高等部入学試検日当日に執筆しています。昨日から北海道は荒天で、学校のＨＰには遅れた場合の対策が書かれていました。緊張していないだろうか、無事に試験時間を過ごせただろうか、そう思いを馳せています。

らるごには家庭福祉相談室を就学によって終了し、中学生になってから復帰してくれたメンバーがおり、既に社会人や大学生になっています。小学校入学直後にらるごができ、その時に入ってきてくれた第１期生が今や受検(験)期を迎えているところです。受検(験)先は、高等支援学校、特別支援学校高等部、全日制高校、定時制高校と多岐に渡ります。

新聞等でも報道される通り、近年入試が非常に多様化・難化しています。ペーパーテストを課す高等支援学校入試では、小学５年生位迄の教科書内容の理科や社会を含んだ知見（覚えるだけでなく実生活に結びつけて考える力が問われます）が必要になり、公立高校入試では暗記では得点できない、記述力や思考力を含む広範囲な応用力を問う問題が多数出題されるようになりました。

素直なところ、暗記が得意ならるごメンバー向きの試検(験)形式ではありません。子ども達それぞれに適した学習対策が必要です。らるごの学習支援コースでは、例えば、公立高校入試数学対策では「図やグラフが出てきたら数値や角度を書込むこと！」「相似な図形は別々に抜き出して書く」など「この時はこうする！」といったパターン的学習から始めて、習得パターンを増やして、活用できる幅を広げていく方法等で対応しています。高等支援学校入試対策では、説明と問題がしっかり一致した、学びやすい問題集で学習した後に、今までの経験とリンクする図解を追加したり、各自が得意とするエピソードを使い学び（例えば、歴史が得意な子ならば「日出ずる国」を使って「太陽が東から上がること」に繋げる）、面接対策では自己ＰＲを選択式等にして学び、話を広げつつ「できた！」を増やしています。

中学生は来室時間が午後４時を過ぎることも多く、活動時間が限られる為、延長の学習時間も設けています。遅くまでよく残り、「疲れた～」「学力ＡＢＣテスト（公立高校の受験先を決める為のテスト）なんてなければいいのに」「面接練習やだ！」など言いながらも、子ども達は本当によく頑張って学習を続けていると思います。新年度までもう2か月を切ろうとしています。これから試験の子ども達もまだ多くおります。何よりも気持ちや身体を大切に、集団時間のカードゲームなど休憩時間でリフレッシュもしっかりしつつ、元気に桜の季節を迎えてほしいと願っています。

＊くもんの〇〇集中学習等は、説明と問題がしっかり一致し、自主学習にもお勧めです。

らるごのプログラム

月曜日　音楽
火水木曜日　学習
金曜日　ＳＳＴ・学習
土曜日　余暇

長期休み期間中は、特別プログラム

おわびと訂正

相談室だより81号に投稿頂きました平田さんのお名前に誤りがあり、大変失礼いたしました。
正しくは平田　英里さんです。
以上、おわびして訂正いたします。

ご支援のお礼とお願い

寒暖差が大きく、突然の降雪に驚かされる冬がようやく終わり、日に日に春らしさが強まっています。皆様いかがお過ごしでしょうか。このたび藤川知子会長に代わり会長代行となりました。宜しくお願い致します。

子どもたちの成長と相談室の活動をご紹介した「相談室だより」をお届けいたしますので、ご高覧いただければ幸いです。そして新たな一年も、力を尽くして親子とともにある相談室を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

後援会会長代行　一條英俊

ご支援ありがとうございました

ここに心からの感謝をもって支援金納入者のお名前を掲載させていただきます。

(2023.10.1から2024.3.31までの受領分・敬称略)

個人

相場幸子　浅井弘子　飯島和子　石川智香子　石丸修太郎　市川啓子　一條英俊　一色満喜子　宇加江進　受川とも子　氏家久仁子　内海洋子　大澤芙美子　太田紀恵　岡崎哲也　奥田裕幸　加藤公子　金澤ひとみ　狩野廣　加藤睦子　川岸紀子　川守田京子　北川優子　木村正洋　清野啓子　工藤卓也　工藤睦美

熊藤敏彦　後藤享　小西簗平　小林裕里恵　小山哲夫　今野武津子　斉藤明世　佐伯嘉美　酒勾康子　佐々木克幸　佐藤修子　佐藤晨　佐藤宣子　佐藤ひとみ　佐藤路子　砂美田藤子　澤崎和子　首藤悦更　鈴木美智子　鈴木紀子　高杉香苗　高田雄子　竹田浩之　立花啓　立花雅子　田中こづえ　田中修二　田中陽子　反田京子　千葉克代　對馬千代

永田愛　中西春代　名久井忠　名久井幸子　西田国子　西田充潔　野田さとみ　橋部由紀　橋部佳紀　幡江美智子　平賀明子　広瀬香　藤川知子　堀内紀久美　増田裕子　真船純　丸子七重　三浦英敏　三浦いづみ　宮崎ルミ子　宮田久子　村上洋子　森長美樹　森眞琴　矢吹徹雄　山下祥子　山下路子　湯本美紀　横山譲　和佐恵太　和佐みか

団体

麻生教会
麻生教会有志
岩見沢教会
岩見沢教会ナルド会
帯広教会
琴似中央教会
札幌北一条教会
札幌教会婦人会
野幌教会
東札幌教会
真駒内教会
真駒内教会子どもの教会
元町教会
麻生明星幼稚園
小樽中央幼稚園
ひまわり幼稚園
藤幼稚園
北光幼稚園
まこまない明星幼稚園
めばえ幼稚園
元江別わかば幼稚園
元野幌めぐみ幼稚園
若葉幼稚園
北星学園女子中学高等学校同窓会

家庭福祉相談室は
赤い羽根共同募金の
支援を受けています。

ひとりの手　みんなの手

「沢山のありがとう」

片庭　佳奈子

２歳の頃に、言葉が遅かったけれど３人目の事もあり、そのうち喋るだろうと思っていましたが、区役所にすすめられ相談室に通い始めました。そこで、息子には丁寧な関わりが必要ですと言われ、丁寧に関わっていないと言われたようで涙をながした事もありました。今思うと、その時の私は、子育てしているつもりで本当は自信がなくそのような感覚で頂いた言葉を受け取ったのだと思います。

初めは、仕事が忙しかった時期でもあり、おばあちゃんに任せる事が多くまだ、現実を受け入れない事がありましたが、通っていくうちに、先生やワーカーさんの丁寧な関わりや、息子のグループでの様子、カウンセラーの先生と親グループでのお母さん達との時間で、少しずつ現実を受け入れ、今息子と丁寧に関わる事の大切さを自分の心から感じる事が出来ました。仕事を減らし、子供達との時間を過ごすきっかけをもらえた事は、今家族にとってとても良かったと思えます。この気づきがなければ今こうして息子の成長を楽しみながら子育てをできていなかったんじゃないかなと思います。

思いが伝わらないと床に頭を打ちつけていた息子は今では、椅子に座ってお話を聞いたり並んで順番を待てるようになりました。沢山の先生、お友達と遊んだ経験から人と関わる事が大好きに育ちました。４月には小学生。色々な事があると思いますが、その先に必ず成長がある事を経験できたので息子のペースにあわせて一緒に歩んでいこうと思います。

先生、ワーカーさんはいつも温かく笑顔で迎えてくれます。子供達はいつも楽しく色んな経験をさせて頂いています。息子もここで沢山認められた経験はこれからの生きる力になると思います。親グループでの時間は、私の支えとなる大切な時間でした。これからも沢山の親子がここで笑顔と希望がもらえる事を願っています。

本当にありがとうございました。

（Dグループのお母さん）

「母として、ワーカーとして」

藤崎　珠代

現在、のんびり発達の中学生の母で、息子が小学生になった頃からボランティアワーカーとして参加しています。

グループの時間は、当然、グループのお子様達に全神経集中していますが、その後の話し合いの時間になると、自分の子供のことも（心の中で共に）考えてしまう一日です。子育て年代のママさんワーカー達も同じ気持ちかと思います。

話し合いの時間では、親グループカウンセラーを通して、就学等の大きな節目での、ご家族の心のさざなみに触れる時もあります。

同じ親として私自身も感じることが深くあり、ご家族達の未来への切なる問いかけに、日々、厳粛な気持ちになります。

幸せな未来のための道作りには、算数のような答えはなくて、親の流した涙と涙の先に在る子供達の笑顔でしかなく、それさえも辛い時が息子に感じた葛藤もあり…。

その葛藤さえも受け止めようと、スタッフ、ワーカーや相談室に関わる全ての方々は、日々、グループ活動や話し合いの時間で、子供たちの未来と向き合っていることも、最近また実感しました。

先代の室長が、「年度が終わる頃には、私たちみんなが、子供達からたくさんの宝物をもらってることがわかるよ。最高の宝物なの。」と常々仰ってました。

毎年、年度末が近づくとその言葉を想います。ご家族、お子様達からの宝物に感謝しています。私の心のさざ波もまた全て宝物に変わっています。

今年度も心からありがとうございました。

相談室だよりをご覧の皆様で、ワーカーに興味のある方、一緒に参加しませんか？年度末の素晴らしい宝物はもちろんですが、スタッフに育児相談や夫の愚痴聞いてもらってます。こっそりですが（笑）

（Dグループワーカー）

「愛しき人達」

太田　紀恵

20年も前のことである。Mちゃんは言葉が無く、感情は奇声で表現する４才児。大好きなのは、大人におぶさり揺らして貰う事。

この日も私は、マットの山を大きく揺さぶりながら昇降した。人心地ついた頃、床に降ろし手を握った。繋いだ手と対面した瞳がパチンと合った。まるで〝またしようね〟と言う様に互いの内面に触れた瞬間だった。言葉を超え、年齢を超え、ハンディの有無を超え「友」になった。この体験は私に、人間の尊厳、人間理解の根本を、そして療育の原点を教えてくれた。聖書には「神さまの御目には、あなたは高価で尊い」とある。必要のない人は一人もなく、支え、支えられる関係の中で「人間」とさせて頂くのだと実感した。相談室を離れて振り返ると、ダウン症の娘が受けた沢山の愛に恩返しすべく場を求めていた。私は創設期のスタッフで敬愛するO先生から聞いていた相談室へと導かれた。出会った子ども達、真剣に我子を育てておられる保護者の方々。いつも真剣勝負でプレーを実践して来たスタッフと素晴らしいワーカーの仲間。30数年の在籍で支えられ、育てられたのは私自身であったと、しみじみ思う。送迎付きが主流で親は直接、療育の現場を見ていないのが多いディサービス事業。親が育ち、子が育つ両輪の療育こそ相談室の特徴である。「相談室だより」の発送日。かつてのお母さん方、ワーカーの皆さんが喜んで作業に集まって下さる。何より喜んでいる前室長佐藤光代さんの笑顔が見えるようだ。

（支援者）

支援金の振込みについて

★現金で家庭福祉相談室後援会の振替用紙を用いて振込み下さる場合に、加算料金110円の負担がかかります。
★振込用紙を使用して、お持ちのゆうちょ口座からお振込み頂くと、振込み人様に加算負担は発生いたしません。
★直接「ゆうちょダイレクト」でお振込み頂くと手数料がかかりません。
★郵便局のＡＴＭをご利用下さると手数料が節約できます。

郵便振替口座　02740−7−34906
クリスチャンセンター家庭福祉相談室後援会

ゆうちょ銀行以外からの振込は
ゆうちょ銀行二七九店（ニナナキユウ店）
当座　0034906

寄付金控除を希望される方へ

相談室は「寄付金控除制度」が適用されます。後援会に支援金を寄付された方で「寄付金控除」を希望される方は、家庭福祉相談室（法人）への寄付に切り替える必要がありますので払込用紙にその旨をご記入下さい。電話での問い合わせは
011−746−6374（家庭福祉相談室）
までお願いします。

家庭福祉相談室ホームページ

北海道クリスチャンセンター家庭福祉相談室にはホームページがあります。

児童発達支援、放課後等ディサービスらるご、そだちの広場ちびちびの情報を見る事ができます。また、家庭福祉相談室の行事やボランティアさんの募集の案内なども載せてあります。多くの方に見て頂きたいと思います。

家庭福祉相談室　検索

http://www.kateifukushi.com/

北海道クリスチャンセンター家庭福祉相談室事業後援会

2024年度 定期総会

日時　5月13日（月）
午後6時30分～
場所　北海道クリスチャンセンター　504号室
（札幌市北区北７条西６丁目）

家庭福祉相談室　活動報告
議題
1．2023年度事業報告及び決算報告の件
2．2024年度事業計画及び予算案の件
3．2024年度役員及び会計監査選出の件
4．その他

夜間の開催となりましたが、支援者の皆様には、多数お集まり頂けますように宜しくお願い申し上げます。

尚、準備の都合上、ご出席の方は5月7日（火）までに、下記にご連絡頂きたく、宜しくお願い致します。

家庭福祉相談室（011−746−6374）
家庭福祉相談室事業後援会　役員会

後援会役員会報告

◎第三回　二〇二三年十一月十五日
・会計報告
・会計監査に関する件
・二〇二四年度定期総会に関する件
・「支援者の集い」の将来像について
◎第四回　二〇二四年一月十三日
・相談室繰り出し金に関する件
・次年度予算案に関する件
・支援金受け取り方法に関する件
・相談室だより82号に関する件
・次年度役員に関する件
◎第五回　二〇二四年三月二二日
・会計報告（決算書　予算書）
・二四年度定期総会に関する件
◎次回予定　二〇二四年四月十七日

♡支援者のお便り♡

☆クリスマス献金に添えて
―麻生明星幼稚園―

♡片づけをして家族みんなで集めました（S・N）
♡笑顔いっぱいのクリスマスが世界中に広がりますように（R・I）
♡世界中の子どもたちが幸せでありますように（Y・K）
♡たくさんの笑顔と幸せが皆様の周りに溢れますように（A・O）
♡誰かの役に立てると嬉しいです（T・S）
♡この献金を神様の御用の為にお使いください。毎晩、祈りながら献金をお捧げしました（R・N）

☆振込用紙より

♡相談室の活動を「えらいね」と気にかけていた学校教諭の長男が亡くなって5年経ちました。気持ちです。（K・H）
♡子どもの成長のためにお役立てできれば嬉しいです（M・A）
♡クリスマスおめでとうございます（K・W）
♡子どもたちに良いクリスマスが訪れますように（M・M）
♡必要としている親子の心に愛の手助けが届きますようにと願っています（H・K）

あとがき

家庭福祉相談室への支援の仕方は、子どもと関わるボランティア、相談室だよりの発送のお手伝い、支援金・支援物資の協力と色々。そのどれかに一人でも多くの手がのべられたら幸いです。（真）